



第463号

2026年 2月

〒461-0004
名古屋市中区東区2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
news@nagoya.catholic.jp
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

2026年

聖年の恵みを受けて、すべての人の
幸せと世界の平和を祈ろう。

教区ホームページ

福音の
ひびき

2月の説教者

- | | |
|-----|---------------------|
| 1日 | 年間第4主日 |
| | 荒田 啓示
(神言修道会) |
| 8日 | 年間第5主日 |
| | 山野 聖嗣
(港教会) |
| 15日 | 年間第6主日 |
| | オディロン・金 一
(富山地区) |
| 22日 | 四旬節第1主日 |
| | 岩崎 一二三
(布池教会) |

2025年通常聖年閉幕ミサ

一昨年の聖家族の祝日(2024年12月29日)に通常聖年閉幕ミサが行われてちょうど一年目の同じく聖家族の日(2025年12月28日)の9時半のミサの中で、カトリック布池教会司教座大聖堂に於いて松浦悟郎司教により、名古屋教区の通常聖年閉幕ミサが行われ、教区全域から集まった人々で満席となった。

照)。この日には、名古屋教区内の各小教区でも同じく司教メッセージが読まれ、それぞれで閉幕ミサが行われた。

司教は説教の中で、旧約時代から続く聖年の意味について歴史的な説明をし、更にその原点はもとと遡って天地創造にあると話した。

神は単に全てのものを創られたのではなく、被造物がお互い機能し合い、助け合って一つになっ

「この一年を感謝しつつ、希望の巡礼を続けましょう」と言われたのだ。しかし最後に創造された人

神は単に全てのものを創られたのではなく、被造物がお互い機能し合い、助け合って一つになっ

「この一年を感謝しつつ、希望の巡礼を続けましょう」と言われたのだ。しかし最後に創造された人

神は単に全てのものを創られたのではなく、被造物がお互い機能し合い、助け合って一つになっ

神は単に全てのものを創られたのではなく、被造物がお互い機能し合い、助け合って一つになっ



今年一年間を通して祝ってきた聖年は、今日をもって閉幕いたしました。しかし、この閉幕は終わることではありません。新たな出発の時です。そのために、私たちはこの一年間、祈り、巡礼、またさまざまな企画を通して神の創造の業の原点に立ち返ろうとしてきたのです。その原点とは、神がこの世界を創造されたとき、創世記にあるように、『見よ、それは、きわめてよかった』状態のことです。すなわち、この世ははじめ、神と共にすべてが調和の中にあったということです。しかし、時を経て、人間は神に背を向け離れたことで、人間はお互いの間で、また、自然界とも分裂してしまいました。神はこの状態を自らの苦しみとし、御子キリストをつ

紹介があり、国名を挙げることになり、温かい拍手が送られ、和やかな雰囲気となった。松浦司教は、この様々な国の人々を前にして、教会はこれらの人々が一つになることを伝える役割があると述べ、全員で「テ・デウム」

を高くに歌い、神を讃えた。閉祭の歌は聖年の讃歌「希望の巡礼者」を、いくつかの言語で繰り返し歌い、世界は一つを象徴的に表す閉祭となった。

カトリック南山教会 75周年を迎えて

皇大使のフランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教、神言神学院のリチャード・ジッブル師、歴代の司祭団が共同司式をしてくださった。日本語中心に国別の聖歌、踊りなどを盛り込んだ豊かな典礼の中で、40名が参列した感謝のミサとなった。このミサの中では、15名の堅信式も行われた。奉納物には、来るべき100周年を意識した寄

せ書きが貼られた十字架のパネルがあった。牧野が池ブリーズバンドが「希望の巡礼者」などの演奏で祝いを盛り上げてくれた。また、ギリで間に合った75周年記念歌を歌うこともできた。ミサ後には、司祭団が準備した記念品が配られた。また、マリア館ホールでは、マリア会の準備によるパーティーが行われた。この1年、75周年を記念する7つの取り組みがあった。

南山教会出身の松浦司教、成井司教の講演会では、私たちが担っている



福音宣教の使命について改めて考えさせられた。作成した記念のロゴは、ポロシャツや記念品、寄せ書きを束ねる十字架など随所に使われ、75周年を祝う気持ちを盛り上げた。9月に行った巡礼では、神言会の創立者聖アーノルド・ヤンセン神父の生誕地ドイツのゴッホや、最初の修道院の地であるオランダのシユタイル、現在の本部があるローマなどを訪れた。創立者の精神に改めて思いを馳せるとともに、今後の方向性についてヒントを得ることができた。今年、神言会創立150周年にもなっており、その記念ミサにもローマで参加した。教皇謁見もでき

(2面に続く)



南山教会巡礼団への教皇レオ14世の祝福





（続き）
た。また、巡礼期間中に列聖された聖カルロ・アクティスが眠るアジジを訪れることができた。さらに今年は、通常聖年ということで、4つの聖なる扉を開くこともできた。様々なことが重なる内容の濃い巡礼であった。10月には75周年記念を兼ねたバザーを行い、国際カリタスを支援することができた。さらに、11月8日には、記念のパイプオルガンコンサートを行い、南山教

の祈りの場に身を置き、先人たちが守り伝えてきた信仰の息づかいに触れることで、私たちの祈りも静かに整えられていった。また、この教会で洗礼を受けた信徒が典礼委員として奉仕したことは、過去と現在が自然に結び合い、聖霊がそと導いておられるのを感じさせる恵みとなった。さらに、この日の歩みは、北向神父が説教で語った「待降節第一日目、イエズスさまをお迎えする準備」という言葉を思い起こさせた。心を整え、互いを導き、出合いを喜ぶ。その積み重ねこそが、主を迎える備えであるその教えが、まさに目に見える形で実現した一日であった。このミサでは他にも入鹿池で事故死した自衛隊員2名の鎮魂と追悼の意向が加えられ、感銘を受けた。ミサ献金は、能登半島地震の復興支援と来年開催される力障連全国大会の各関係者に手渡された。困難の中にある人々とながら「祈りの分かち合い」となった。

春日井教会 信徒の集い25

2025年11月30日、春日井教会はコロナ禍以降では初めて、教会外での行事として「信徒の集い25」を開催した。テーマは「明治時代からの『贈り物』を、さらに未来へ」。サブテーマには「聖年希望の巡礼者」を掲げ、恵みを受け継ぐ歩みを共にした。会場は博物館明治村・大明寺聖パウロ教会。受付、昼食、散策、そして14時からミサへ至る一日を、晩秋の穏やかな光とともに過ごした。参加者は子どもから高齢者、そして外国籍信徒、また飛び入りにて能登、東京より各2名の青年が、更に隣りの瀬戸教会より4名の障がい者の方を含めて総勢55名で「一つの教会」を実感する喜びに満たされた。歴史的聖堂で捧げられたミサは、参加者の心に深い印象を残した。明治期

第15回
日本カトリック障害者連絡協議会
名古屋全国大会

仲間をつなぐ ウィンクあいち にあつまれ〜！
第15回 日本カトリック障害者連絡協議会
名古屋全国大会 2026.11.14-15

現在、名古屋教区では大会実行委員会を結成し、準備が進んでいきます。すでに小教区の皆様には大会PRのキャラバンで大会の主旨をお話させていただき、大会開催と参加者の交通費補助のための募金、そしてボランティアの募集を呼びかけているところです。今回の名古屋大会は「ミサへの完全参加と平等」の実現と、インクルーシブな教会に向けての講演や分科会などで学び、なかなか集うことができない仲間と分かち合い、絆を深めていければと思っております。参加したいと思っても、病気や何らかの事情で参加できなかった皆さんとともにつながりを持って、仲間の輪が広がっていくことを願っています。



口となる連絡会をつくっていくことも、今大会の目的としています。前回の長崎大会は九州地方では初めての開催でした。それまで長崎大司教区には力障連がありませんでしたが大会開催後、大会実行に関わった皆さんにより、2025年4月に新たな加盟団体として活動が始まりました。前フランシスコ教皇が、「誰一人排除しない、誰一人取り残さない教会を目指す」と話されたように、インクルーシブで共に歩む教会であってほしいと全国の障害当事者信徒は願っています。今回の名古屋大会でも、新たな力障連が他の教区にとつてより良いものになると信じています。名古屋教区の皆様、是非、大会へのご参加とご支援を重ねてお願い致します。（日本カトリック障害者連絡協議会会長 江戸徹）

2月11日は「世界病者の日」

2月11日は日本の暦では「建国記念の日」で休日、教会暦では「ルルドの聖母マリア」の任意の記念日として知られているが、この日はローマ・カトリック教会によって「世界病者の日」と定められている。これは、教皇聖ヨハネ・パウロ2世によって定められた。1985年、教皇は、教皇庁に「教皇庁医療使徒職評議会」という新評議会を設置し、1993年から、2月11日、ルルドの聖母の祝日に「世界病者の日」を記念するようになった。この日は、全世界の病気で苦しんでいる人々たちによって定められた。

1985年、教皇は、教皇庁に「教皇庁医療使徒職評議会」という新評議会を設置し、1993年から、2月11日、ルルドの聖母の祝日に「世界病者の日」を記念するようになった。この日は、全世界の病気で苦しんでいる人々たちによって定められた。1985年、教皇は、教皇庁に「教皇庁医療使徒職評議会」という新評議会を設置し、1993年から、2月11日、ルルドの聖母の祝日に「世界病者の日」を記念するようになった。この日は、全世界の病気で苦しんでいる人々たちによって定められた。

今日も、イエス・キリスト、『善きサマリヤ人』は、傷ついた人類に近づき、教会の秘跡を通して『なぐさめの油と希望のぶどう酒』を注ぎ、病氣のために脆弱な状況を生きた人々への助けと寄り添いの行為・態度を励ま

マリア人の憐れみ・隣人の苦しみを担いながら愛する（仮訳）と報道した。以下はその記事の抜粋である。「教皇庁総合的人間開発省は、このテーマをめぐる声明で、福音書の『善きサマリヤ人』のたとえに登場するサマリヤ人を中心に据え、追いはぎに襲われて苦しむ人の世話を引き受けること、愛を示すその姿を通して、隣人に対するこの愛を強調するもの、と述べている。愛には、具体的な寄り添いが求められ、わたしたちはそれを通して、隣人たちの、特にしばしば困窮や、孤立、孤独のために脆弱な状況に置かれた病者たちの苦しみを担う必要がある。今日も、イエス・キリスト、『善きサマリヤ人』は、傷ついた人類に近づき、教会の秘跡を通して『なぐさめの油と希望のぶどう酒』を注ぎ、病氣のために脆弱な状況を生きた人々への助けと寄り添いの行為・態度を励ま

《参照》
パチカンニュース
<https://www.vaticannews.va/ja/pope/news/2025-09/tema-xxxiv-giornata-mondiale-malato.html>
女子パウロ会公式サイト ラウダーテ
https://www.pauline.or.jp/chripedia/mame_byusyanohi.php

しておられる、とこのように同省の声明は述べている。 私たちも、この呼びかけにこたえて病氣に苦しむ隣人たちに寄り添いながら、彼らの回復、また病苦に耐えるための慰めと励ましの力を、ともに神に祈り求める日として意識していきたい。（教区ニュース編集部）

パイプオルガンと聖歌による クリスマスのお話

南山教会で毎年恒例に
なっている「パイプオル
ガンと聖歌によるクリス
マスのお話」が、去年の
12月6日に南山教会大聖
堂にて開かれた。待降節
の時期にクリスマスを持
ち望む喜びを、聖書朗読、
クリスマスキャロル、パ
イプオルガンの奏楽を聴
いて分かち合った。

出演は、聖書朗読・

Sr.村上多美代(聖霊会)、
ソプラノ独唱・湯浅乃
有、パイプオルガン演
奏・吉田文(名古屋音楽
大学、南山大学非常勤講
師)、そしてグレゴリオ
聖歌・名古屋グレゴリオ
聖歌を歌う会のメンバー
である。

グレゴリオ聖歌によ
る《招きの祈り》が唱え
られると、讃美歌「高く
戸を上げよ」の旋律を主
題としたオルガン奏楽が
高らかに響き、神の子イ
エスの生誕をたどる道の
りへの始まりを告げた。
Sr.村上多美代の聖書朗読



かく包み込んだ。
聖歌「Adeste Fideles」
による変奏曲がオルガン
の華やか音色で響き渡っ
た後、演奏会の締めくく
りに約130人の参加者全員
が一体となって「しずけ
き」を歌い、喜びに満ち
たひと時を分かち合っ
た。

会場では自由献金を募
り、集まった献金はホス
ピス聖霊後援会「ぶどう
の会」に寄付された。

(名古屋グレゴリオ聖歌
を歌う会 毛利知里)



ミャンマー地震災害支援 チャリティーコンサート

去年の12月6日、カト

リック瀬戸教会の聖堂に
てミャンマー地震復興支
援のためのチャリティー
コンサートの開催され
た。参加者は116人であ
った。小さな子どもから大
人まで、笑いあり、涙あ
りの温かな雰囲気におま
れた。みんなのヒーロー、
アンパンマンも登場。ア
ンパンマンは、あんパン
で空腹の人を元気にす

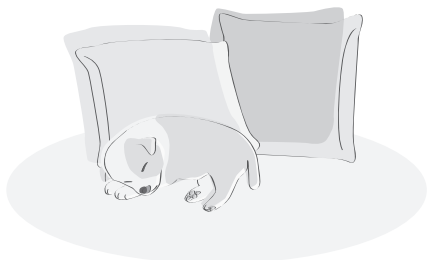


人シスターによるミヤ
マーの現状報告と平和を
願う歌など、子どもから
大人まで国籍、年齢、障
害の有無を越えたプログ
ラムとなった。歌、楽器
演奏、寸劇、司会、受付、
駐車場整理、ビデオ撮
影、パンフレットの準備
など、50人以上のボラン
ティア一人一人が、それ
ぞれのタレントを通して
全員でアンパンマンを目
指したコンサートであっ
た。

募金額148,536
円は全額、幼き聖マリア
修道会を通してミヤ
マー支援に役立てられ
る。私たちのアンパン
マンはイエス様。イエス様
であるご聖体を頂いて、
私たちも誰かのアンパン
マンになれる喜びを感
じ、笑顔あふれる神の国
が実現した。

(高蔵寺教会

川口紗弥佳)



第38回 名古屋教区障害者連絡会 四旬節黙想会のご案内 ～障害のある人々と共に～

- テーマ 聖年(ヨベルの年)いのちの光
障害当事者の姿、形、生き方を通して、新たな
教会の扉を開いていく。
- 日時 3月21日(土) 9:30~16:00
- 会場 南山教会マリア館2階ホール
名古屋市昭和区南山町2
電話 052-831-9131 (要約筆記・手話通訳あり)
- 指導 狩浦正義神父(美濃加茂教会主任)
- 参加費 無料(昼食として弁当の用意あり。希望者は
申し込みを。600円)
- 問合先 カリタス福祉委員会、教区障害者連絡会
電話 052-852-1426
- 主催 名古屋教区障害者連絡会、カリタス福祉委員会

*詳細は第86号会報をご覧ください。
*申し込み締め切り 3月9日(月)

第32回 ウェルフェアコンサート

子どもたちの歌でつづる昭和100年

昨年11月29日に愛知県
芸術劇場コンサートホー
ルで、AJU自立の家
ウェルフェアコンサート
が開催された。32回目を
迎える今回は、「子ども
たちの歌でつづる100年」
と題して、約千人の観客
を魅了した。

出演者は、音羽ゆりか

ご会、名古屋市立桜山中
学校コーラス部、桜花学
園高等学校合唱部、ボ
ニージャックスと高田真
理さんで、昭和時代の懐
かしい童謡、唱歌、歌謡
曲を披露した。

中学生、高校生のコー
ラスは、それぞれ愛知県
の中でも優秀な合唱団で
全国コンクールの愛知県
代表として出場した経験
を持つ実力ある存在だ。

また出演者の年齢は、
小学生の子どもたちから
上は80歳代に渡り、その
幅広い年齢層は、プログ



ラムに変化をもたらせ、
歌声のすばらしさに彩り
を添えた。また視聴者に、
歌うことを身近に感じさ
せたのではと思う。
視聴者からは、「アッ

という間に時間が過ぎ、
楽しませてもらった」音
羽ゆりかご会のちびっこ
達の歌声に感動した」な
どの感想が寄せられた。

尚、コンサートの収益
金は、AJU自立の家後
援会を通して、社会福祉
法人AJU自立の家の活
動を支援するために使わ
れる。



(祭) 祭日、(祝) 祝日、(記) 記念日	
2月の教会暦	
1日(日) 年間第4主日	11日(水) 祝信徒使徒職協議会 感謝ミサ*
2日(月) 主の奉獻(祝)	12日(木) 顧問会 月集*
3日(火) 福者ユスト高山右近殉教者(記)	14日(土) 典礼委員会コアミーティン
5日(木) 日本26聖人殉教者(祝)	17日(火) カトリック看護協会例会
6日(金) 聖アガタおとめ殉教者(記)	21日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」
8日(日) 年間第5主日	22日(日) 教会学校教師会
10日(火) 聖スコラスチカおとめ(記)	26日(木) 司祭評議会*／三河B司牧者会議
11日(水) 祝「ルルドの聖母マリア」世界病者の日	28日(土) 濃尾B会議
14日(土) 聖チリロ隱世修道者 聖メトデオ司教(記)	3月
15日(日) 年間第6主日	1日(日) 性虐待被害者のための祈りと償いのミサ* (五反城教会)
18日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)	3日(火) 城南B司牧者会議
22日(日) 四旬節第1主日	6日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
29日(日) 3月の主な教会暦(主日・祭日など)	8日(日) 城東B会議／三河B会議
1日(日) 四旬節第2主日	9日(月) 城北B司牧者会議
8日(日) 四旬節第3主日	10日(火) 難民移住移動者委員会／樹の会
15日(日) 四旬節第4主日	14日(土) 神言会助祭叙階式* (神言神学院)／殉教者委定例会／典礼委員会コアミーティン
19日(木) 聖ヨセフ(祭)	15日(日) 城北B会議
22日(日) 四旬節第5主日	16日(月) のとサポートセンター運営委員会*
25日(水) 神のお告げ(祭)	17日(火) のと視察*／カトリック看護協会例会
29日(日) 受難の主日(枝の主日)	19日(木) 月集*
	20日(金) 祝「ダイヤモンド・金・銀祝ミサ」
	21日(土) 名古屋教区司教座聖堂献堂記念日／正義と平和委「学

建設費の返済に協力を

695件 38,110,661円
目標額 40,000,000円 (2025年12月末日現在)

福信館

達成率 約95.3%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。



告知板

◇2月の炊き出し
木5日東山、12日布池、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋
金6日喜望の会、13日南山、20日布池、27日一宮

2月

16日(月) 20日(金) 司教総会
ありません

3月

22日(日) 教会学校教師会
26日(木) 顧問会*
28日(土) 教区法人評議員会*

習会・定例会／教区障害者の黙想会／レジオ・マリエ「名古屋クリア」

お知らせ 名古屋教区信徒使徒職協議会・活動休止 52年の歩み 感謝ミサ この半世紀に寄り添い続けた祈りと奉仕に感謝

日 時 2月11日(水・祝) 13:00～
場 所 カトリック布池教会カテドラル
主司式 名古屋教区長 ミカエル松浦悟郎司教
主 催 名古屋教区信徒使徒職協議会

セクシャルハラスメント対応委員会からのお知らせ

2026年の年間行事予定内にある「主日のミサで性被害者のために祈る (セクハラ対応委)」は、3月8日(日)ではなく3月1日(日)に行われます。

日 時 3月1日(日) 9時のミサ
場 所 五反城教会

多数のご参加をお待ちしております。

セクシャルハラスメント対応委員会 代表 小瀬木尚美

ヨハネ・リータス神父 ミサ説教のYouTube配信



故リータス神父(元南山教会司祭、神言会員)は、長い年月に渡って日本各地で宣教司牧に携わり、その流調な日本語での説教は、多くの人々を信仰へと導いた。過去に行われたリータス神父のミサ説教を現在の典礼歴に合わせて、YouTubeで配信している。

最新の配信を視聴する方法

- ① ユーチューブ公式チャンネルを開く。
- ② [ヨハネ・リータス]で検索
- ③ 画面上のどの配信動画でもよいので、紫色の[n]マークをタップする。更に[新しい順]をタップする。
- ④ 上部に最新の配信が表示される。



2026年 世界祈祷日のお知らせ

例年6教派による世界祈祷日が設けられています。

2025年はカトリックが当番教派で、布池教会において開催されました。

2026年の世界祈祷日は

日 時 3月6日(金) 9:30～
場 所 日本キリスト教団 名古屋中央教会
名古屋市東区久屋町8-6
地下鉄 栄下車5番出口すぐ前
内 容 受付 9:30～、説明等 10:00～、礼拝 10:30～
閉会 12:30
共 催 「樹の会」、信徒使徒職協議会

第19回 ホスピス聖霊講演会

テーマ: いのちに向き合う
～生と死の狭間の中で～

講 師 松浦悟郎司教 カトリック名古屋教区長
日 時 2月28日(土)
講 演 13:30～15:00 (その後、30分の質疑応答)
*入場13:00～
会 場 聖霊病院 2階 聖霊ホール
対 象 一般
定 員 100名 定員になり次第 締切
申込み方法

はがき、封書、またはEメールに、氏名・住所・電話番号をご記入ください。定員を越えましたら、ご案内申し上げます。
締 切 2月13日(金) 必着

申込み先および問合せ先

〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
聖霊病院 ホスピス聖霊 看護師長 松川幸江
電話 (052)832-1181
Eメール budou@seirei-hospital.org

主 催 聖霊病院 ホスピス聖霊推進委員会
後 援 ホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」